



仮設三階櫓

まち興し委員会委員長 富田光政

9月25日(土)・9月26日(日)、「第22回鳥取三十二万石お城まつり」が開催され、鳥取YEGは仮設三階櫓設置、YEGブース出店にて参加いたしました。仮設三階櫓は2032年度の三階櫓復元工事着工に向けて、YEG会員全員で復元を後押しするという決意の事業です。そして、鳥取市民に向けて三階櫓復元の姿をイメージしていただき、復元へ関心を持ってもらう為に設置をしました。YEGブースはこれから鳥取の発展を担う若い世代に鳥取城跡に足を運んでいただき興味を持っていただくきっかけとなればと、スタンブラー&クイズラリーを開催いたしました。二日間とも晴天に恵まれ、約400名のお子様、親御様に参加していただき仮設三階櫓、YEGブース共に好評のお声をいただき、本事業を行った意義を感じることができました。

鳥取三十二万石お城まつりに参加

新入会員



坂口 正哲 君
(さかぐちまさのり)
事業所名 Sakaguchi Dental Office
所属委員会 まち興し委員会



阿部 仁幸 君
(あべのりゆき)
事業所名 備若狭屋プロモーション
所属委員会 政策提言委員会

中国ブロックYEG出向理事
網尾 和亮



中国ブロック大会

日本YEG 第39回 中国ブロック井原大会

10月16日(土)、第39回中国ブロック「いばら大会」が開催されました。本年度も残念ながら完全リモート形式での開催となりました。大会式典では、中国ブロック乗藤昭範会長の挨拶で大会が開催されました。オンラインではありましたが、特別事業も開催され、講師三国公靖氏(ニッセイアセットマネジメント)のセミナーや物産展・ビジネスマッチングPR大作戦などが開催されました。ビジネスマッチングでは、中国地区44社での意見交流や自社PRなどが行われました。大変内容の濃いとても勉強になる中国ブロック井原大会でした。

鳥取YEGでは
鳥取を
盛り上げる方
募集中!!

鳥取 YEG は、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?! 鳥取 YEG で出会う「縁」を「運」に変えて、企業と地域を活性化させましょう! お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0857-32-8004

(鳥取商工会議所青年部 事務局)



鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

発行:令和3年11月15日
鳥取商工会議所青年部
広報IT委員会

鳥取商工会議所青年部通信

11



令和3年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 荒田潤之介
株式会社 千代田工務店

朝夕はひと際冷え込むようになり、行く秋が惜しまれる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調など崩さないようお気を付けください。新型コロナウイルス感染症も全国的に落ち着いた様子が見えており、終息が待ち遠しい所でございますが、今一度、感染対策は継続していただきながら、地域経済を少しでも廻していきたいです。今年度の青年部活動も残り半期となり、各委員会の活動が益々活発となっております。残り半期の活動といたしましては、星取キャンプ場アウトドアパークショップ(会場:湖山池青島)、因幡千本桜植樹(布勢運動公園横「桜の園」、鳥取交通フェスタ(会場:バードハット)など各種事業を予定していると共に3つの政策提言を取りまとめたいです。また、次年度についても動き始め、先日、次年度理事役員選出委員会が開催されました。今後の青年部と地域の商工業の発展を担ってくれる皆様を選出、1月には理事役員が決定する予定でございます。次年度も楽しみにしつつ、今月で会員数180人となった会員の皆様と共に地域の商工業発展のため、今年度の集大成に向け、更なる活動に邁進してまいりますので、引き続き、お力添えをよろしくお願ひします。2年間、会長職をさせていただいている感謝を形にするためにも今一度、気を引き締めて活動してまいりますので、ご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

現在、青年部は、月一回の例会や活動の中で、会員の皆様に学ぶ機会を設けております。青年部が監修いたしました星取ビールを使ったマーケティング手法の勉強会も、必要となつてくるDXの導入など、会員企業の皆様の事業価値を高めることを目的にしております。一企業が強くなくていくことも地域の商工業の発展には、重要なことなので今後もしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。また、9月25、26日に開催されました「第22回鳥取三十二万石お城まつり」にご参加いただき、ありがとうございました。当日は仮設三階櫓他、クイズに答えて鳥取城跡を学ぶスタンブラーにも本当に多くのご家族をはじめ皆様方にご参加していただきました。皆様のお陰を持ちまして、2032年の二の丸の三階櫓復元に向け、よいスタートを切る事ができました。10年かけて鳥取市民皆様の力で実現し、鳥取城跡を地域や、子供たちの誇りにしていきたいと思ひますので、今後もよろしくお願ひします。最後に現在、コロナ禍という困難な状況にありますが、諦めなければ困難は人を成長させ、挑戦していくことは自分と周りをより良い方向に導いてくれます。私たちは、青年経済人として困難に打ち勝ち、常に挑戦を続け、鳥取をより良い方向に導けたらと思ひますので、引き続き、ご支援をよろしくお願ひします。

ICT例会開催について

10月13日(水)、広報ICT委員会が担当例会としてICT例会を開催いたしました。例会では会員に遊びながら学んでもらうDXゲームを行いました。DXゲームとは楽しみながらICTやDXの理解を深めることを目的に、広報ICT委員会が作成したオリジナルのゲームであり、架空の企業の問題点を挙げ、その課題を最適なICT技術で解決するというものです。このゲームを行う上で最も注意して頂きたいことが「コスト」の概念です。ICT技術には便利なものがたくさんありますが、中小企業で活用するためには導入費用、ランニングコスト等、それにかかる費用と予算が合致することが非常に重要です。DXゲームでは課題解決のために企業が用意できる予算を「コスト」として数値化し、各ICT技術にも導入にかかるコストを決めておくことで予算内で如何に課題を解決するかを学んでいただきました。技術の選定が終わったら、その解決により企業にどのような「変革」が起こるのかを書き出します。実際の例会では主催委員会でも出てこなかったような回答例や変革例も発表していただき、私共も非常に勉強させていただきました。DXゲームを通して、様々な業種において自社のビジネスにどうICT技術を活用できるか思考する習慣ができれば幸いです。

広報ICT委員会
委員長 高木健治郎



プレゼンテーションのようす



DXゲーム